MITSUBISHI ELECTRIC

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

三菱中間取付形ダクトファン

形　名
V-19ZMT2・V-26ZMT2

据付説明書

工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

本書の裏面は「取扱説明書」です。据付け後お客様へ必ずお渡しください。

■据付け、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店様が実施してください。
■この製品は浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井裏に据付けてください。
それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび給排気グリルが必要です。
その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。
（給気用として据付ける場合は、ダクトには結露防止のため断熱処理をしてください。）

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	●**内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●**ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない** 爆発・引火の原因。
水ぬれ禁止	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショート・感電の原因。
分解禁止	●**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。
指示に従う	●**交流 100 V を使用する** 直流や交流100V 以外を使用すると火災や感電の原因。 ●**外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 ●**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける** 漏電した場合発火の原因。
アース確認	●**湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける** 故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
禁止	●**浴室内に壁スイッチを設けない** 感電の原因。 ●**直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない** 火災の原因。
指示に従う	●**本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。 ●**部品の据付けは確実に行う** 落下によりけがの原因。 ●**据付けの際は必ず手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。 ●**電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。 ●**据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

2. 据付け前のお願い

お願い

本体の真下に保守点検口（□450 ㎜）を必ず設けてください。
（点検口がない場合の本体修理等で、天井などを壊す場合は、お客様（工事店様）の費用ご負担となります。あらかじめご了承ください。）

据付場所

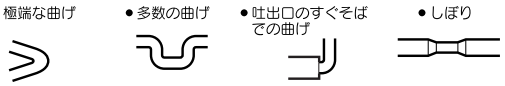
- 浴室など湿気の多い場所に給排気グリルを据付ける場合は、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に据付けてください。
- 騒音を重視する寝室などに給排気グリルを据付ける場合は、システム部材のフレキサイレンサーか中間取付形ストレートサイレンサーを使用すると約 10dB の消音効果があります。

取付け

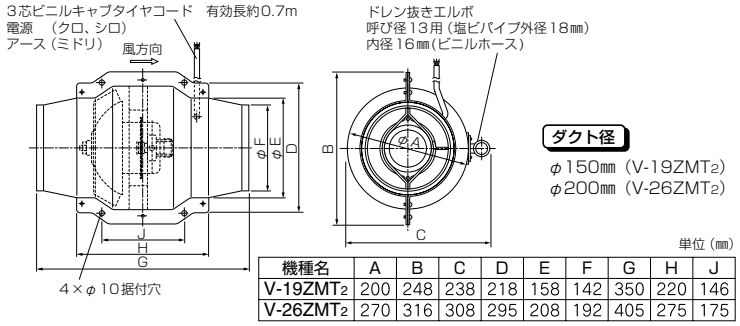
- 中間取付形ダクトファン及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。
- 温泉には据付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用 24 時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口（給気用として据付ける場合は排気口）を設けてください。

天井・ダクト工事

- 排気（給気）ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1 /100 以上の下りこう配をつけてください。
- 排気（給気）ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水などの浸入を防ぐための深形フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）



3. 外形寸法図



機種名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
V-19ZMT2	200	248	238	218	158	142	350	220	146
V-26ZMT2	270	316	308	295	208	192	405	275	175

4. 据付方法

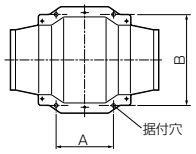
据付手順例：1 据付け前の準備 ⇒ 2 本体を吊る ⇒ 3 ダクト接続 ⇒ 4 ドレン抜き工事 ⇒ 5 電気工事 ⇒ 6 天井材を張る ⇒ 7 給排気グリルの据付け

1 据付け前の準備

本体の据付位置・吸込方向・排気方向を決めます。

2 本体を吊る

1



左図の据付穴位置を参照して吊りボルトを埋込む。

単位（㎜）

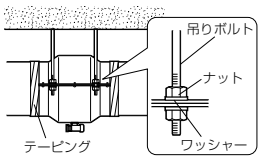
機種名	A	B
V-19ZMT2	146	218
V-26ZMT2	175	295

2

本体が水平になるよう（ドレン排出ができるよう）、本体を吊りボルトに据付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い
- 本体を据付ける場合、銘板に風方向が表示してありますので吸気側（羽根が見える側）と排気側を間違えないように据付けてください。
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。
- 給気用として使用する場合、本体を断熱処理してください。

3 ダクト接続

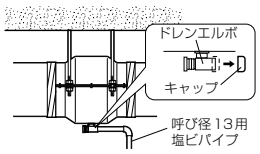


ダクトを接続する。
- ダクトをダクト接続口にしっかり差し込んで、風漏れのないようテーピングする。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊す。
- 給気用として使用する場合、ダクトを断熱処理してください。

4 ドレン抜き工事

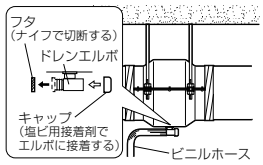
浴室など湿気の高い場所の換気を行う場合には、必ずドレン抜き工事を行う。

硬質塩ビパイプで施工する場合



（1）本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずす。
（2）呼び径 13 用塩ビパイプで接続する。
（3）接続部分から水漏れのないようシール材を塗布する。

ビニルホースで施工する場合



（1）本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずし、エルボに塩ビ用接着剤を塗布し、キャップを接着する。
（2）先端のフタをナイフで切断したあと、ビニルホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定する。

お願い
- ドレン抜きパイプから水漏れがないように工事を行ってください。
- パイプの端は、必ず排水可能なところまで導きドレン処理を確実に行ってください。
- パイプの途中に、水のたまるようなへこみを作らないでください。

5 電気工事

電気工事を行う。
- 専門の工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行う。

6 天井材を張る

天井材を張る。

お願い
- メンテナンスが行なえるよう本体の真下に保守点検口（□450 ㎜）を必ず設けてください。
点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品修理する為に必要となる天井その他の取り壊し及び修理費用は工事店様ご負担になります。

7 給排気グリルの据付け

システム部材または市販のグリルを使用し、それに同梱の据付説明書を参照して据付けてください。

5. 試運転

据付けが終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか？
2. 振動・異常音はありませんか？